

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 津山圏域資源循環施設組合	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-4611 津山市領家1446番地
----	-----------------------------	----	---

本票作成 部署名：津山圏域資源循環施設組合事務局

主たる業種	分類コード	88	業種名：廃棄物処理業
-------	-------	----	------------

事業の概要 一般廃棄物処理施設 熱回収施設64 t /24 h ×2炉 焼却量39,295.57 t (H29実績)

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	津山圏域クリーンセンター	津山市領家1446番地

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kl以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 33 年度)
	10,779 t CO ₂	14,374 t CO ₂	10,502 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	津山圏域クリーンセンター	14,374 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(29) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 33.4 %	2.6 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成28年度と比較し大幅に非エネルギー起源のCO₂排出量が増加した。
理由としては、ごみ焼却量の増加と焼却物に含まれるプラスチック量の増加によるものである。
今後は、人口の減少によるごみ量の減少、また、組合構成市町で策定している一般廃棄物処理計画の実行によるごみの減量、ごみの分別による可燃ごみの減量によるCO₂削減が見込まれる。
ごみの分別等については、組合、施設運営事業者、組合構成市町による啓発活動、搬入事業者への指導等行うこととしている。

【推進体制】

ごみ減量化に向けた状況報告並びに取り組み目標（中期、短期）について、当組合、組合構成市町担当課、施設運営事業者による運営調整会議において協議しながら進めていく。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
津山圏域クリーンセンター	(平成29年度実施分) 搬入検査の実施による搬入事業者等への指導（年間43回） 組合だよりの発行（年間1回） 組合構成市町の広報誌による啓発 組合構成市町運営調整会議の実施（年間1回） (平成30年度実施予定分) 搬入検査の実施による搬入事業者等への指導 組合だよりの発行 組合構成市町の広報誌による啓発 組合構成市町運営調整会議の実施 組合構成市町実務担当者会議の実施

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--